

## 南相馬市近郊の保存土壌放射性物質9年の変化についての考察

一般社団法人 南相馬市除染研究所  
Chief Coordinator 田中節夫

### 背 景

2011 年 3 月 11 日東日本大震災に端を発した福島第一原発事故から 9 年を経過しました。

国内で唯一、放射性物質の放出と拡散により汚染被害を受けた南相馬市とその周辺地区の放射能汚染土壌を、2012 年 9 月に採取、これまで自然界から隔離し、周囲の環境変化による放射能減衰変動を受けない条件を確保、放射能濃度や強度という視点からどのような変化をするのか、毎年観察を継続してきました。

この間、市街地や農耕地などを中心に除染作業が実施されたことにより、多くの地点で帰還が実現し、また、健康被害の議論はあるものの、特に特定されるような事象もなく、安心安全が維持され平常な社会活動を営むことが実現していると評価されます。

他方、山間地では除染が困難なことから、自然な放射能減衰を待たざるを得ない状況にあり、いまだ原状復帰が実現していない事実もあります。

従って、除染による人為的な放射能減衰、他方では天候や地形変動などによる、放射性物質の流出や蓄積など環境変化による自然な放射能減衰と、いずれも減衰経過には理論的な放射能減衰とは違う減衰変化を示すことになります。

では、環境に左右されない状態の中では、汚染された土壌はどのような変化推移を経ていくのか、この放射性物質の放射能減衰を追跡観測してきた放射性物質の挙動について経過をまとめました。

### 目 的

天候など環境変化を受けない様に、ポリケースに保管した採取土壌の測定結果から、放射能濃度(Bq/Kg)及び人体に影響を与える放射能強度( $\mu$  Sv/H)など、土壌から環境の影響を除いた時の経年変化(減衰変化)や物理的減衰との違いの評価、更にはいくつかの地点では現地自然界との比較によって、放射性物質で汚染された土壌の減衰変化の実態を知り、安心安全の評価を試みました。

### 調査方法

1. 2012 年 9 月採取の保管土壌サンプルの原発事故後 9 年を経過した 2020 年 3 月における放射線濃度(Bq)および強度(Sv)などの測定。
2. 土壌採取地点の地理的位置関係の概要 (Fig-1)  
点線より左側が原発より北西に位置する高線量地域、相対的に低い地域が右側となりますが、山沿いの鹿島区榑原からの採取土壌は、現在でも高線量を記録しています。
3. 測定機器および測定方法は次の通り。
  - 1) 放射能濃度(評価単位 Bq/Kg) NaI(Tl)シンチレーション AKP 社製 SEG001AK-PS63 (Fig-2)
  - 2) 放射能強度(評価単位  $\mu$ Sv/H) CsI(Tl)シンチレーション ポリマスター社製 PM1703M(Fig-3)
  - 3) 放射能表面汚染密度(評価単位 CPM) GM 式 日立アロカ社製 TGS146B
  - 4) 放射能強度、表面汚染密度測定時、バックグラウンド遮蔽機器として 200×200×100 t=10mm 鉛ケースを使用。(Fig-3)

遮蔽仕様:解放空間 0.18 $\mu$ Sv/H

鉛ケース内 0.04 $\mu$ Sv/H 遮蔽効果 78%

鉛 10 mmの理論遮蔽率は 60～70%とされますが、原発事故前の放射線量は  $0.05 \mu\text{Sv/H}$ (平均)と公表されているので、同等と考えて測定誤差を無視できる範囲とみます。

Fig-1 土壌採取地点(图中 No は Table-1/P4 表中の地点 No とリンク)

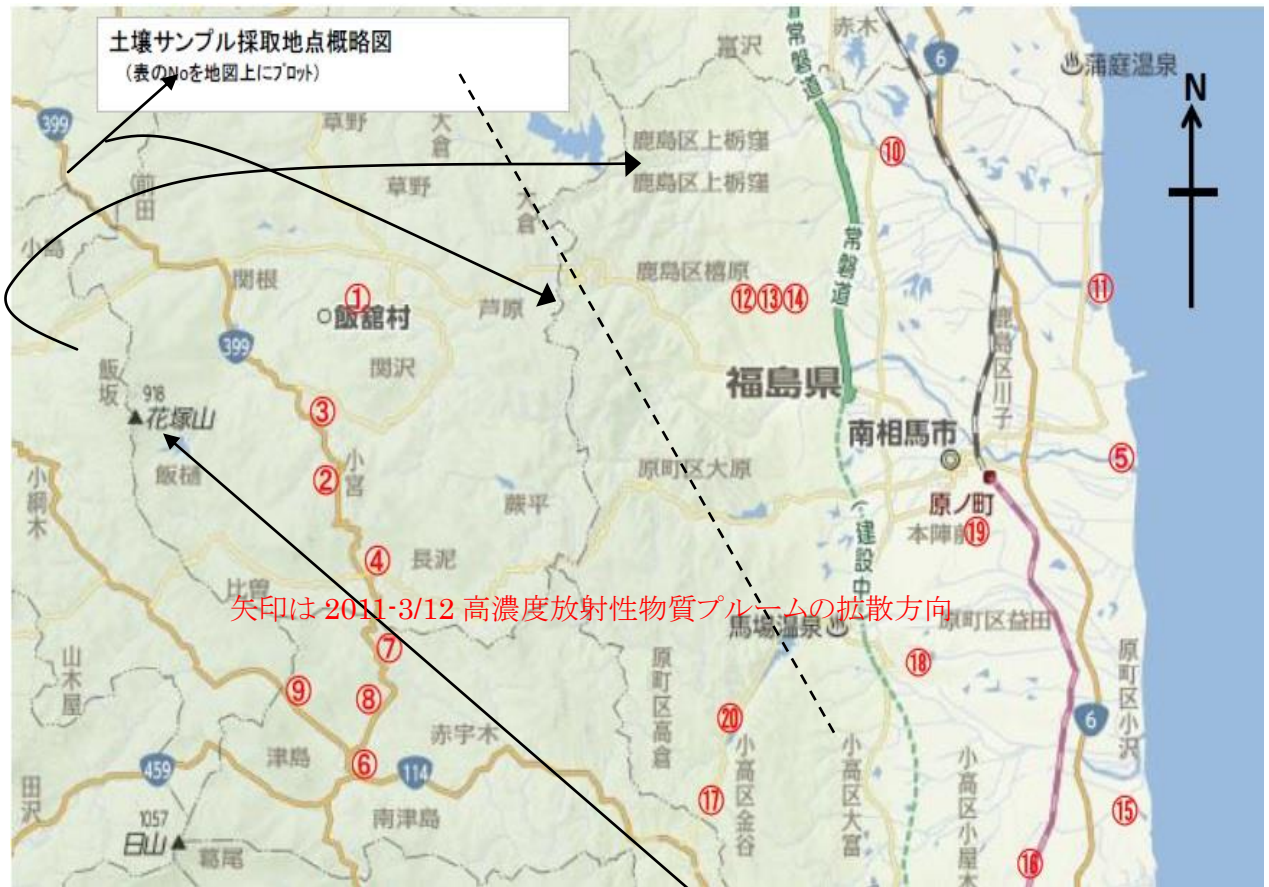


Fig-2 SEG001AK-PS63 食品放射能測定器システム全景



試料土壌の測定パッケージ



Fig-3 バックグラウンド遮蔽機器による測定システム全景



## まとめ

1. 原発事故における放射性物質の拡散降下後 9 年、採取保管した汚染土壌の放射線エネルギーは、以下に示すように事故直後からおよそ 1/4 に自然減衰しています。

21012 年 9 月に採取保管されていた土壌の放射能濃度(Bq/Kg)は、採取より 7 年 6 か月後の 2020 年 3 月には全地点平均で 53%減衰していました。

2012 年 9 月の測定値を基準に、2011 年 3 月原発事故直後の放射性物質セシウム 143 と 137 の放出割合がおおよそ 1:1 であったと公的に推定されていることを根拠に、事故直後の拡散降下の程度を計算値から算出し、減衰率を推定すると約 63.1%減衰していることになります。

(Table-1 参照)

また、放射線エネルギー (Sv) の減衰率は 76.6%(残存率 23.4%)で、理論減衰率はおおよそ 75%であることから、観測値はほぼ理論値通りの放射線エネルギー減衰カーブを示しているといえます。(Table-2・Fig-4 セシウム減衰曲線グラフ参照)

2. 採取保管されている汚染土壌の放射能減衰の最近の傾向は、緩やかになっています。

2015 年には半減期が 2 年と短いセシウム 134 の残存率がおおよそ 4%と小さくなり、一方半減期が 30 年と長いセシウム 137 の影響から、以降の放射線エネルギーの減衰曲線は年々緩やかになっていることがグラフから判ります。(Fig-4 放射線量率全地点平均推移グラフ参照)

当然放射能濃度も同様の傾向を示し、現在では Fig-1Map 点線の右側(平野地区)の居住地区より採取した保管土壌はいずれも自然減衰によって汚染管理指標の 8,000Bq/Kg の 1/2 以下となっています。(Fig-4 参照)

これらの地区は、当初から山間部と比較して汚染レベルは低く、自然減衰のみでも早期に低線量化していることがグラフから判ります。

この要因は高濃度放射性物質降下地区の浪江町と接する南相馬市小高区(20Km 圏内)の一部を除き、地形や当時の天候の影響から、高濃度放射性物質の直撃を避けられたことによるものです。

3. 山間部高線量地区における自然環境は、放射能濃度の変化に与える影響が大きい。

採取土壌の内、山間部は現在も多く多くの地区が手つかずとなっており、汚染の推移に多様な変化が認められ、その事例を示します。(Fig-5・6 参照)

採取保管土壌では安定した自然減衰の傾向が認められますが、Fig-5 自然土の推移は、年度ごとの上下変動が大きく、減衰が認められません。

この要因は、観測地点自然土が崖下にあり、雨天など天候変動により上層の高濃度な土砂が崩壊、流出入が継続して発生していることや、猪の生息移動ルートにあり土壌が荒らされ、堆積変動が繰り返されていることによる結果であることが判っています。

また、Fig-6 観測地点自然土の推移は、理論減衰曲線より更に放射線エネルギーが減衰していることが判ります。

これはこの地点の地形が緩い傾斜地にあり、道路を挟んで下手は崖上に当たり、土砂や落ち葉の流出入が穏やかに、天候により表層が自然流動している様子で、表面地表が流れ入れ替わりやすい地形と判断できます。

さらに主要道路沿線にあることから、周期的に沿線保全が実施され、表層清掃がされている影響が大きいことが判ります。

つまり、各地点に拡散した放射能濃度・エネルギーは一元的に減衰していくのではなく、各地点の地形や天候、人為的な変更等々、変動要因が加えられることによって、それぞれ違う変化を示すことになることがこの事例から判ります。

4. 放射能の減衰量が小さくなった現在、帰還を実現するには土壌など環境復旧事業は必須です。

保管土壌採取地点の内、山間部にあっても避難住民の多かった川俣町山木屋、飯館村の一部では、土壌入替え等の除染を含む環境復旧作業が実施され、安全安心な低線量化を実現させ、住民帰還を実現しています。

他方、その他の保管土壌採取地点の内、浪江町津島地区をはじめいくつかの高線量地点は、原発事故以降 9 年を経過した今年度の観測においても、除染などの環境復旧事業は遅れ、多くは

保管土壌と同様な 8,000Bq/kg を越える高濃度土壌のまま、現在に至っています。

現地の自然環境に存在する自然土は、前項3. のような限られた範囲における土壌の流動変動はあっても、その総量の存在が地域から無くなるわけではありません。

また、今後の放射能減衰は半減期が約 30 年と長いセシウム 137 による影響がメインとなることから、自然土壌の放射能濃度やエネルギーは、高いレベルが長期間推移することになります。

つまり、広大なこれら阿武隈山系を中心とした山野は、除染など環境復旧事業を行なうことが難しい地区であり、限られた居住地区の環境復元は計られても、それは点でしかなく、面としての山野の環境復元つまり安全な環境は、再興し難いという大きな難題が 9 年を経たこれからも長く存在し続けることとなります。

#### 5. 原発事故からの復興と帰還に至る時間があまりにも長く、住民の生活再建の意向と乖離してしまっている。

今回の福島第一原発事故による放射性物質のセシウム 134 及び 137 放出拡散比率は 1:1~1:0.8 と推定されています。(注:環境省調べ)

それから 9 年を経て、各年の調査結果の推移からも“まとめ 1 項”で明らかにした通り、放射線エネルギーの減衰変化はこれを裏付ける結果となりました。

放出される放射性降下物は、それぞれ、寿命の異なる様々な核種によって構成されており、原子炉の燃料や運転時間、事故当時の原子炉の温度、核種ごとの沸点の違いなどから、放出される放射性物質の構成の比率は事故ごとに異なり、34 年前の 1986 年 4 月 26 日に起きたチェルノブイリ原発事故による放出量はセシウム 134 と 137 の放出量の比は最大で 1:1.8 と推定されています。つまり、半減期が 30 年と長いセシウム 137 が約 2 倍の比率で放出されたということです。

更には、国家政治と広大な地域の汚染という背景から、除染などの環境回復が十分されたとは云えず、いまだに福島県の避難地区のままとなっている高線量地区と同レベルの地区で、健康不安を抱えながら住民が多く生活されている事実があります。

対して、2019 年 3 月 1 日に実現した前項 4 の山木屋地区の事例にもあるように、山間部の集落居住地区の生活圏については、安全安心の担保された環境が確保されたとされる一方、山木屋地区の帰還に関しての住民意向調査では、帰還に積極的ではない意向が高い割合で示されています。(Fig-7 参照)

その要因の多くは、生産人口の若年壮年層を中心に 8 年という長い避難生活を経て、家族の安全安心を求め新たな地での定着が進み、帰還者の多くに高齢者の割合が高くなり、その結果、帰還先の医療や買い物などの社会環境へのニーズの変化に対する整備不足が挙げられ、この理由は浜通り他市町村の避難住民に共通のものとなっており、避難市町村の将来を考えた時、過疎化や高齢化の加速によって自治体の復興と将来への活性化への足かせとならないか危惧されます。

その対応策として、新たな産業復興による産業人口の増加を意図するなどの取り組みが進んでおり、大きな期待が寄せられています。(参考:Fig-8)

以上

Table-1

採取保管土壌の放射能濃度推移(単位:Bq/Kg)

| No | 採取地    | 土壌試料Cs134+Cs137合計(Bq/Kg) |          |          |          |          |          |          |          |          |          |
|----|--------|--------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
|    |        | 11-3/推定値                 | 12-9実測値  | 13-3実測値  | 14-3実測値  | 15-3実測値  | 16-3実測値  | 17-3実測値  | 18-3実測値  | 19-3実測値  | 20-3実測値  |
| 1  | 飯館1    | 9.31E+04                 | 7.32E+04 | 5.53E+04 | 5.83E+04 | 4.55E+04 | 4.30E+04 | 4.14E+04 | 3.83E+04 | 3.66E+04 | 3.41E+04 |
| 2  | 飯館2    | 4.75E+05                 | 3.74E+05 | 2.87E+05 | 2.96E+05 | 2.30E+05 | 2.17E+05 | 1.73E+05 | 1.95E+05 | 1.85E+05 | 1.76E+05 |
| 3  | 飯館3    | 1.02E+05                 | 8.03E+04 | 6.21E+04 | 6.15E+04 | 5.21E+04 | 4.80E+04 | 4.67E+04 | 4.21E+04 | 4.09E+04 | 3.80E+04 |
| 4  | 飯館長泥   | 1.90E+05                 | 1.50E+05 | 1.19E+05 | 1.27E+05 | 9.32E+04 | 8.44E+04 | 8.34E+04 | 7.60E+04 | 7.31E+04 | 6.80E+04 |
| 5  | 新田川    | 1.55E+04                 | 1.22E+04 | 9.84E+03 | 1.01E+04 | 7.86E+03 | 7.19E+03 | 7.09E+03 | 6.51E+03 | 6.17E+03 | 5.81E+03 |
| 6  | 津島2    | 3.44E+05                 | 2.70E+05 | 2.06E+05 | 2.25E+05 | 1.78E+05 | 1.66E+05 | 1.40E+05 | 1.50E+05 | 1.41E+05 | 1.32E+05 |
| 7  | 津島3    | 8.56E+04                 | 6.72E+04 | 5.14E+04 | 5.27E+04 | 4.15E+04 | 3.95E+04 | 3.81E+04 | 3.50E+04 | 3.33E+04 | 3.07E+04 |
| 8  | 津島4    | 1.13E+07                 | 8.92E+06 | 5.58E+06 | 7.47E+06 | 5.98E+06 | 5.53E+06 | 4.55E+06 | 5.02E+06 | 4.79E+06 | 4.34E+06 |
| 9  | 山木屋    | 3.03E+05                 | 2.37E+05 | 1.77E+05 | 1.93E+05 | 1.52E+05 | 1.42E+05 | 1.40E+05 | 1.28E+05 | 1.21E+05 | 1.12E+05 |
| 10 | 角川原    | 3.68E+03                 | 2.88E+03 | 1.70E+03 | 2.44E+03 | 1.81E+03 | 1.66E+03 | 1.39E+03 | 1.48E+03 | 1.44E+03 | 1.34E+03 |
| 11 | 真野川    | 1.19E+03                 | 9.31E+02 | 7.02E+02 | 7.58E+02 | 5.74E+02 | 5.32E+02 | 4.98E+02 | 5.00E+02 | 4.55E+02 | 4.18E+02 |
| 12 | 檜原1    | 1.19E+04                 | 9.41E+03 | 7.21E+03 | 8.02E+03 | 5.98E+03 | 5.52E+03 | 5.28E+03 | 4.98E+03 | 4.60E+03 | 4.28E+03 |
| 13 | 檜原2    | 3.67E+05                 | 2.90E+05 | 2.31E+05 | 2.54E+05 | 1.91E+05 | 1.78E+05 | 1.68E+05 | 1.57E+05 | 1.47E+05 | 1.39E+05 |
| 14 | 檜原3    | 2.36E+06                 | 1.87E+06 | 1.26E+06 | 1.49E+06 | 1.15E+06 | 1.06E+06 | 1.03E+06 | 9.57E+05 | 8.91E+05 | 8.32E+05 |
| 15 | 小高村上   | 4.09E+03                 | 3.22E+03 | 2.86E+03 | 2.65E+03 | 2.06E+03 | 1.88E+03 | 1.78E+03 | 1.71E+03 | 1.63E+03 | 1.51E+03 |
| 16 | 小高駅    | 4.94E+03                 | 3.93E+03 | 3.28E+03 | 3.20E+03 | 2.35E+03 | 2.23E+03 | 2.11E+03 | 2.07E+03 | 1.90E+03 | 1.77E+03 |
| 17 | 原浪トンネル | 3.36E+05                 | 2.65E+05 | 2.14E+05 | 2.18E+05 | 1.65E+05 | 1.31E+05 | 1.49E+05 | 1.40E+05 | 1.35E+05 | 1.25E+05 |
| 18 | 馬場     | 1.06E+04                 | 8.32E+03 | 6.02E+03 | 6.83E+03 | 5.38E+03 | 4.79E+03 | 4.63E+03 | 4.27E+03 | 4.20E+03 | 3.89E+03 |
| 19 | 博物館裏   | 5.19E+04                 | 4.07E+04 | 2.92E+04 | 3.30E+04 | 2.68E+04 | 2.36E+04 | 2.33E+04 | 2.07E+04 | 2.07E+04 | 1.94E+04 |
| 20 | 横川ダム   | 1.09E+07                 | 8.69E+06 | 5.89E+06 | 7.22E+06 | 5.98E+06 | 4.89E+06 | 5.11E+06 | 4.33E+06 | 4.16E+06 | 3.90E+06 |
|    | 合計平均   | 1.35E+06                 | 1.07E+06 | 7.09E+05 | 8.87E+05 | 7.15E+05 | 6.29E+05 | 5.86E+05 | 5.65E+05 | 5.39E+05 | 4.98E+05 |

Table-2

採取保管土壌の放射能エネルギー(強度)推移(単位:  $\mu\text{Sv/H}$ )

| No | 採取地     | 土壌試料放射線量率 ( $\mu\text{Sv/H}$ ) |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
|----|---------|--------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|    |         | 11-3/推定値                       | 12-9実測値 | 13-3実測値 | 14-3実測値 | 15-3実測値 | 16-3実測値 | 17-3実測値 | 18-3実測値 | 19-3実測値 | 20-3実測値 |
| 1  | 飯館1     |                                | 0.44    | 0.33    | 0.26    | 0.22    | 0.21    | 0.17    | 0.15    | 0.14    | 0.10    |
| 2  | 飯館2     |                                | 1.20    | 0.89    | 0.78    | 0.63    | 0.50    | 0.42    | 0.40    | 0.33    | 0.36    |
| 3  | 飯館3     |                                | 0.98    | 0.79    | 0.66    | 0.70    | 0.46    | 0.29    | 0.36    | 0.30    | 0.30    |
| 4  | 飯館長泥    |                                | 2.24    | 1.67    | 1.00    | 0.71    | 0.80    | 0.77    | 0.71    | 0.64    | 0.40    |
| 5  | 新田川     |                                | 0.24    | 0.13    | 0.12    | 0.13    | 0.13    | 0.10    | 0.07    | 0.07    | 0.06    |
| 6  | 津島2     |                                | 1.58    | 1.37    | 1.07    | 0.70    | 0.77    | 0.32    | 0.55    | 0.49    | 0.37    |
| 7  | 津島3     |                                | 0.83    | 0.77    | 0.58    | 0.47    | 0.43    | 0.40    | 0.30    | 0.26    | 0.29    |
| 8  | 津島4     |                                |         | 2.86    | 2.07    | 2.17    | 1.13    | 1.25    | 1.17    | 0.93    | 0.75    |
| 9  | 山木屋     |                                | 2.33    | 1.80    | 1.45    | 1.32    | 0.09    | 0.85    | 0.95    | 0.86    | 0.77    |
| 10 | 角川原     |                                | 0.07    | 0.08    | 0.05    | 0.05    | 0.07    | 0.05    | 0.03    | 0.03    | 0.03    |
| 11 | 真野川     |                                | 0.06    |         | 0.03    | 0.03    | 0.04    | 0.04    | 0.03    | 0.03    | 0.02    |
| 12 | 檜原1     |                                | 0.16    |         | 0.11    | 0.08    | 0.08    | 0.08    | 0.06    | 0.05    | 0.06    |
| 13 | 檜原2     |                                | 1.60    |         | 1.04    | 0.72    | 0.58    | 0.50    | 0.44    | 0.47    | 0.37    |
| 14 | 檜原3     |                                | 2.03    |         | 1.18    | 0.85    | 0.81    | 0.60    | 0.70    | 0.65    | 0.40    |
| 15 | 小高村上    |                                | 0.10    |         | 0.05    | 0.05    | 0.03    | 0.04    | 0.04    | 0.04    | 0.03    |
| 16 | 小高駅     |                                | 0.07    |         | 0.04    | 0.05    | 0.05    | 0.05    | 0.04    | 0.04    | 0.03    |
| 17 | 原浪トン礼付近 |                                | 3.74    |         | 1.16    | 1.40    | 1.05    | 1.01    | 0.90    | 0.91    | 0.83    |
| 18 | 馬場      |                                | 0.15    |         | 0.09    | 0.07    | 0.08    | 0.09    | 0.06    | 0.05    | 0.06    |
| 19 | 博物館裏    |                                | 0.37    |         | 0.22    | 0.19    | 0.12    | 0.17    | 0.10    | 0.07    | 0.09    |
| 20 | 横川ダム    |                                |         |         | 2.25    | 2.45    | 1.65    | 1.44    | 1.33    | 1.25    | 1.24    |
|    |         | 1.41(計算値)                      | 1.01    | 1.07    | 0.71    | 0.65    | 0.45    | 0.43    | 0.42    | 0.38    | 0.33    |

注) '11-3 月平均放射線量率推定値は、'12-9 月観測地平均より算出。



採取保管土壌の放射能観測推移グラフ

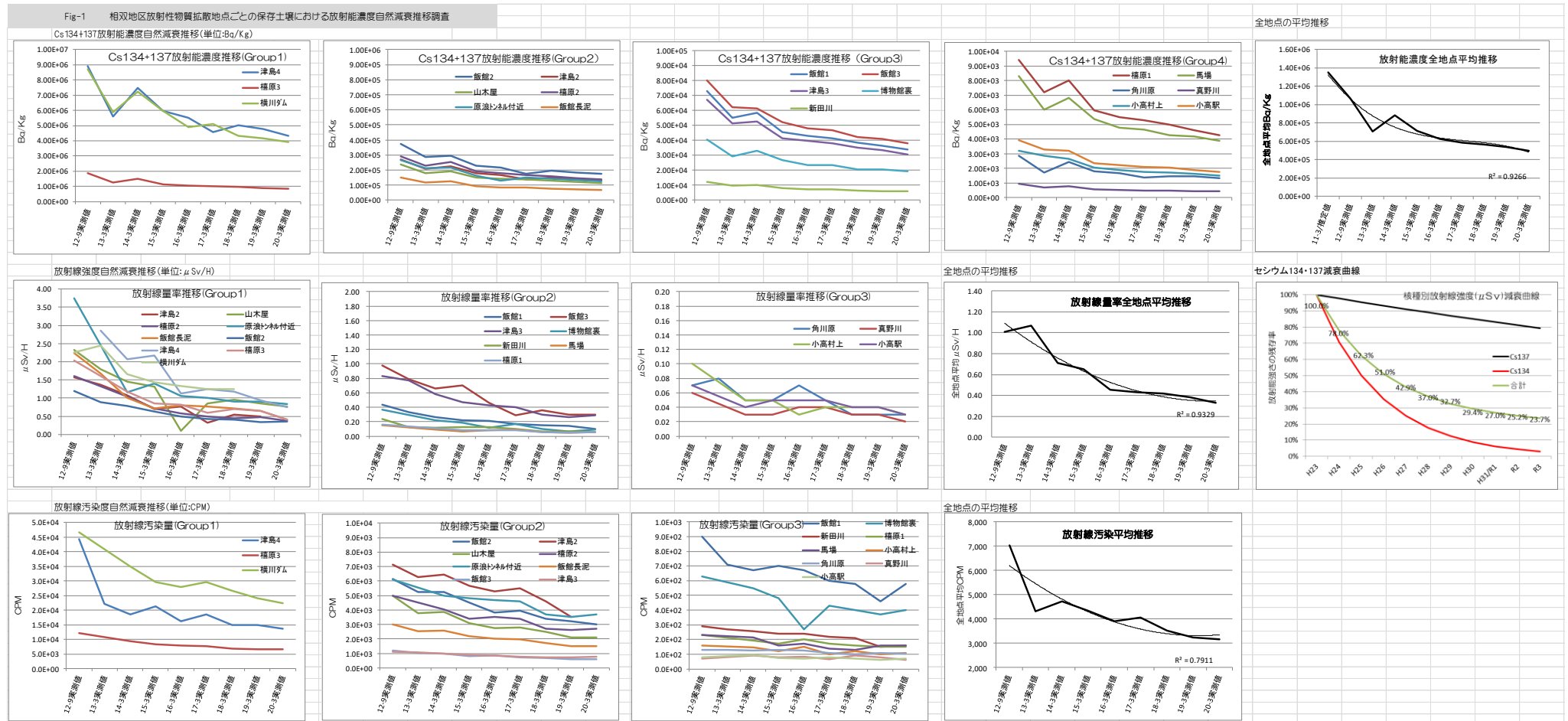


Fig-5

採取保管している土壌と採取地点周辺より毎年採取した自然界土壌との経年変化の放射線エネルギー(強度)比較グラフ

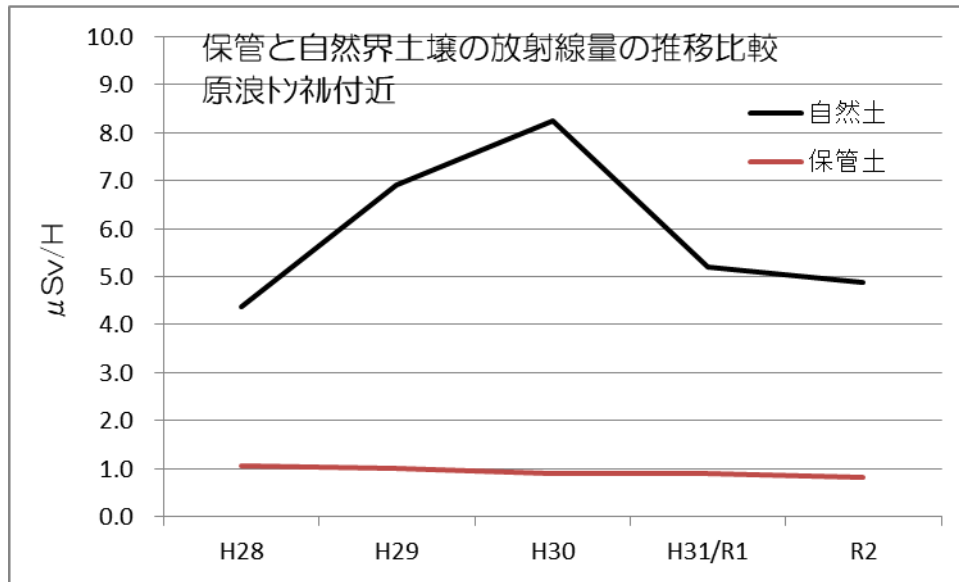
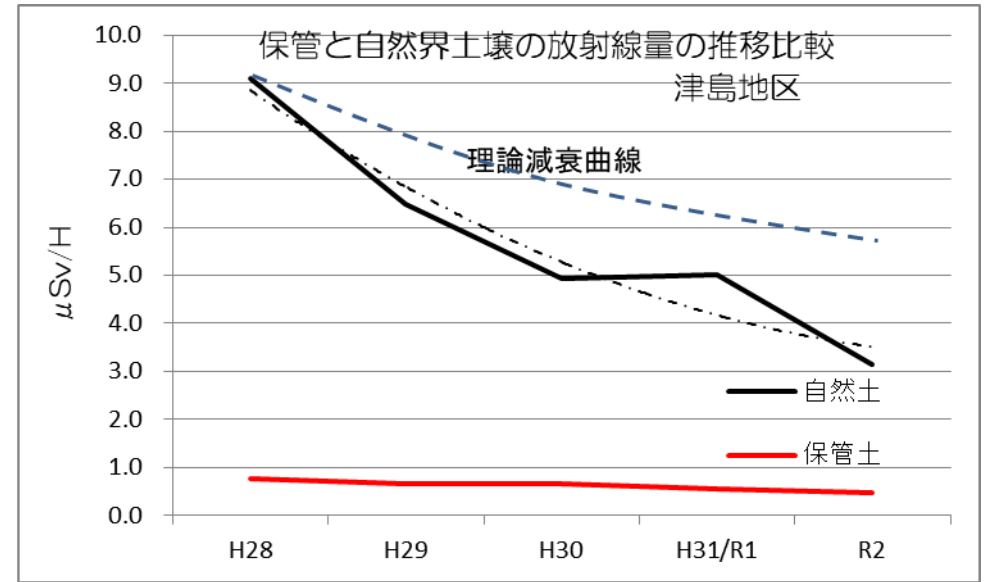
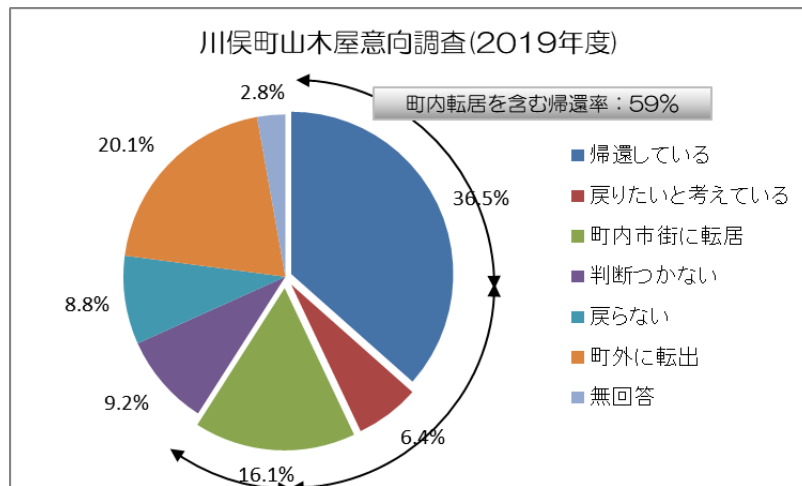


Fig-6



注)理論減衰曲線:立ち入り観測が許された H28 の自然土観測値を 1 として R2 までの理論減衰率を示しています。

Fig-7



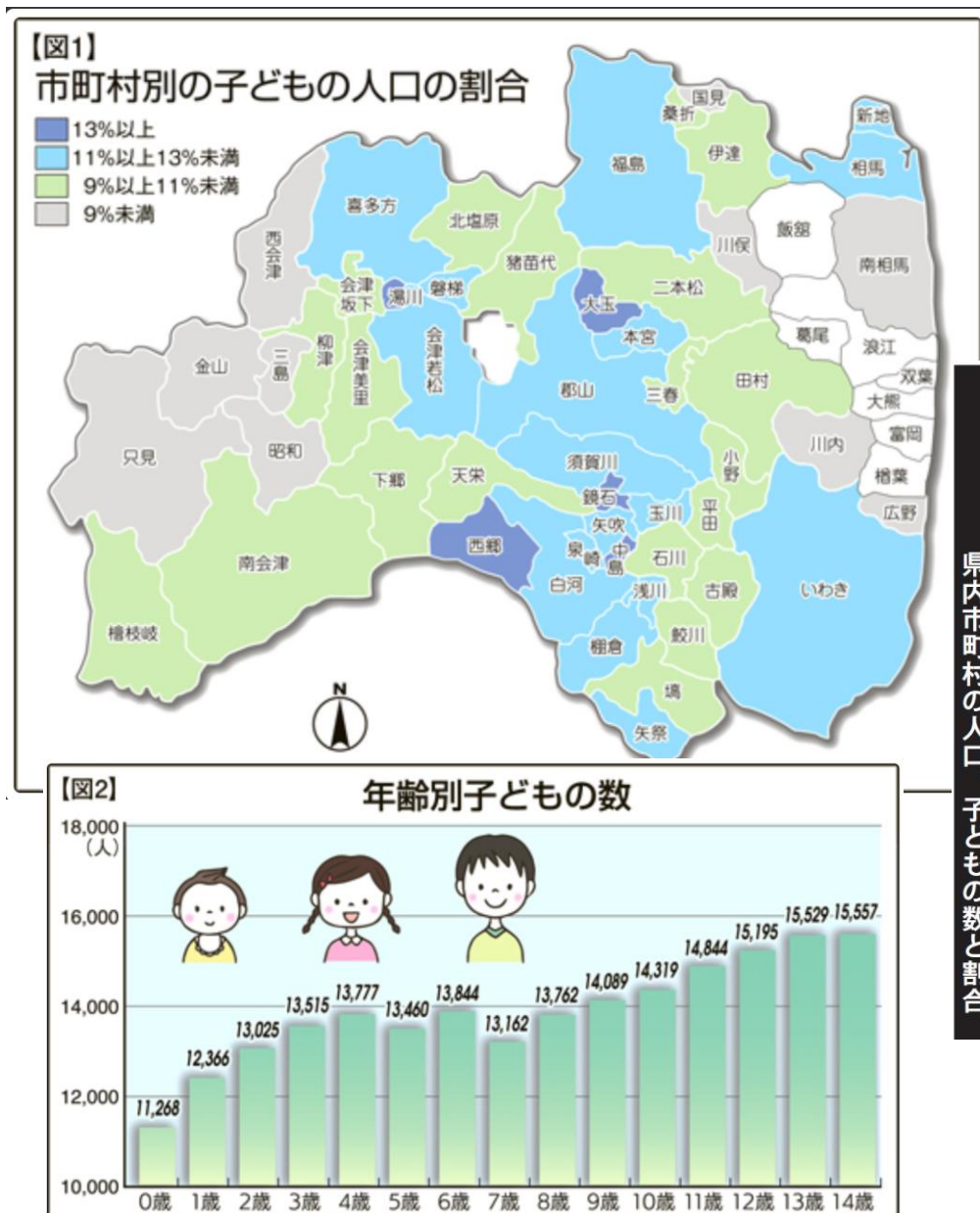
2020-3/19 復興庁公表 data をグラフ化したものです

調査結果では約 60%の帰還しか見込めず、自治体の過疎化に拍車をかける結果となっています。

この帰還率減少傾向は避難市町村共通の傾向で、最も大きな要因は、避難期間が長くなり避難先での生活再建が進んでいることや帰還しても社会環境の未整備や原発解体における放射能災害の再発予測など不信・不安感が高いことが回答から伺えます。



Fig-8  
(参考資料)  
福島県子ども人口(福島県調査統計)



左図白抜き町村は今回調査対象外となっています。

|       | 人 口 (人)         |                 |        | 子どもの数 (人)       |                 |        | 子どもの割合 (%)      |                 |      |
|-------|-----------------|-----------------|--------|-----------------|-----------------|--------|-----------------|-----------------|------|
|       | 2020年4月<br>1日現在 | 2019年4月<br>1日現在 | 増減数    | 2020年4月<br>1日現在 | 2019年4月<br>1日現在 | 増減数    | 2020年4月<br>1日現在 | 2019年4月<br>1日現在 | 増減率  |
| 福島市   | 285,035         | 286,739         | ▼1,704 | 31,291          | 31,881          | ▼590   | 11.2            | 11.3            | ▼0.1 |
| 会津若松市 | 118,643         | 119,876         | ▼1,233 | 13,988          | 14,370          | ▼382   | 11.9            | 12.1            | ▼0.2 |
| 郡山市   | 330,310         | 331,388         | ▼1,078 | 39,424          | 40,005          | ▼581   | 12.2            | 12.3            | ▼0.1 |
| いわき市  | 338,045         | 340,916         | ▼2,871 | 38,227          | 39,302          | ▼1,075 | 11.5            | 11.7            | ▼0.2 |
| 白河市   | 59,406          | 59,883          | ▼477   | 7,123           | 7,395           | ▼272   | 12.1            | 12.5            | ▼0.4 |
| 須賀川市  | 75,493          | 75,853          | ▼360   | 9,641           | 9,837           | ▼196   | 12.8            | 13.0            | ▼0.2 |
| 喜多方市  | 46,061          | 46,785          | ▼724   | 4,991           | 5,120           | ▼129   | 11.1            | 11.2            | ▼0.1 |
| 相馬市   | 37,099          | 37,669          | ▼570   | 4,432           | 4,606           | ▼174   | 12.1            | 12.4            | ▼0.3 |
| 二本松市  | 54,995          | 55,725          | ▼730   | 5,842           | 5,968           | ▼126   | 10.6            | 10.7            | ▼0.1 |
| 田村市   | 35,532          | 36,227          | ▼695   | 3,615           | 3,777           | ▼162   | 10.3            | 10.5            | ▼0.3 |
| 南相馬市  | 53,179          | 53,796          | ▼617   | 4,269           | 4,318           | ▼49    | 8.2             | 8.2             | 0.0  |
| 伊達市   | 58,891          | 59,674          | ▼783   | 5,971           | 6,098           | ▼127   | 10.2            | 10.2            | ▼0.1 |
| 本宮市   | 30,334          | 30,571          | ▼237   | 3,907           | 3,996           | ▼89    | 12.9            | 13.1            | ▼0.2 |
| 本桑町   | 11,586          | 11,748          | ▼162   | 1,217           | 1,243           | ▼26    | 10.5            | 10.6            | ▼0.1 |
| 国見町   | 8,796           | 8,968           | ▼172   | 759             | 802             | ▼43    | 8.6             | 9.0             | ▼0.3 |
| 川俣町   | 12,861          | 13,180          | ▼319   | 978             | 1,049           | ▼71    | 7.6             | 8.0             | ▼0.4 |
| 大玉村   | 8,932           | 8,954           | ▼22    | 1,305           | 1,311           | ▼6     | 14.7            | 14.7            | ▼0.0 |
| 鏡石町   | 12,286          | 12,289          | ▼3     | 1,711           | 1,747           | ▼36    | 13.9            | 14.2            | ▼0.3 |
| 天栄村   | 5,198           | 5,285           | ▼87    | 530             | 551             | ▼21    | 10.2            | 10.4            | ▼0.2 |
| 下郷町   | 5,159           | 5,307           | ▼148   | 480             | 508             | ▼28    | 9.3             | 9.6             | ▼0.3 |
| 檜枝岐村  | 539             | 559             | ▼20    | 59              | 67              | ▼8     | 10.9            | 12.0            | ▼1.0 |
| 只見町   | 4,070           | 4,196           | ▼126   | 363             | 372             | ▼9     | 8.9             | 8.9             | 0.1  |
| 南会津町  | 14,523          | 14,878          | ▼355   | 1,379           | 1,444           | ▼65    | 9.5             | 9.7             | ▼0.2 |
| 北塩原村  | 2,554           | 2,596           | ▼42    | 259             | 267             | ▼8     | 10.1            | 10.3            | ▼0.1 |
| 西会津町  | 5,701           | 5,885           | ▼184   | 468             | 479             | ▼11    | 8.2             | 8.1             | 0.1  |
| 磐梯町   | 3,360           | 3,429           | ▼69    | 425             | 436             | ▼11    | 12.6            | 12.7            | ▼0.1 |
| 猪苗代町  | 13,613          | 13,987          | ▼374   | 1,443           | 1,540           | ▼97    | 10.6            | 11.0            | ▼0.4 |
| 会津坂下町 | 15,162          | 15,482          | ▼320   | 1,658           | 1,694           | ▼36    | 11.0            | 11.0            | ▼0.0 |
| 湯川村   | 3,030           | 3,070           | ▼40    | 420             | 431             | ▼11    | 13.9            | 14.0            | ▼0.2 |
| 柳津町   | 3,111           | 3,214           | ▼103   | 301             | 318             | ▼17    | 9.7             | 9.9             | ▼0.2 |

県内市町村の人口、子どもの数と割合